

対策の方向性（目標設定）の検討ペーパー

海岸は、海岸管理者（一般的には都道府県知事）の責務において維持・管理されるべきものであるが、漂流・漂着ゴミ問題については、各都道府県のみで対応することが困難な状況である。そのため、関係省庁や地方自治体が協力して、当該問題に対応する必要がある。本調査では、漂流・漂着ゴミ削減対策に係る「発生抑制」、「漂着防止」、「回収・処理」の各項目の方向性(目標設定)を以下のように設定し、調査の遂行・取りまとめを行う予定である(図 1)。

なお、以下のキーワードは「漂流・漂着ゴミ対策に関する関係省庁会議とりまとめ」(平成 19 年)から抜き出したものである。

1. 発生抑制

発生抑制（発生源対策）

- ・発生源に関する調査及びデータの蓄積
- ・発生源原因者の分析
- ・有効な抜本的対策の検討

様々な主体の役割分担や参加のあり方

- ・国と地方の役割分担のもと、支援整備の検討を行う
- ・NGO 等との関係者間の連携の推進
- ・国と関係地方公共団体等との連携による医療系廃棄物の漂着状況の把握

国際的な協調の促進

- ・日中韓 3 カ国環境大臣会合等の政策対話
- ・NOWPAP の海洋ゴミプロジェクトを通じた取り組み

効果的な広報、教育 / 普及等

- ・できる限り多くの人に漂流・漂着ゴミ問題に関心を持ってもらう
- ・一人一人が発生源とならないように理解と行動を呼びかけていく

2. 漂着防止

漂流経路対策 / 漂着防止対策

- ・漂流予測手法の検討
- ・ゴミの集まる位置を予測する技術等の研究開発
- ・海面に浮遊するゴミの回収の検討

漂着ゴミの監視と機動的な対応

- ・海上漂流物目視観測
- ・河川管理者による日常的な監視による不法投棄の抑止・早期発見

3. 回収・処理

環境保全上特に保全すべき海岸での回収、処理方法

- ・海岸保全区域内における補助規模、補助要件の検討

海岸特性に応じた効果的な回収、処理方法

- ・漁業系資材の処理費用の軽減方策及びリサイクル技術の開発・推進

その他

- ・塩分を含んだ漂着ゴミの焼却技術の開発

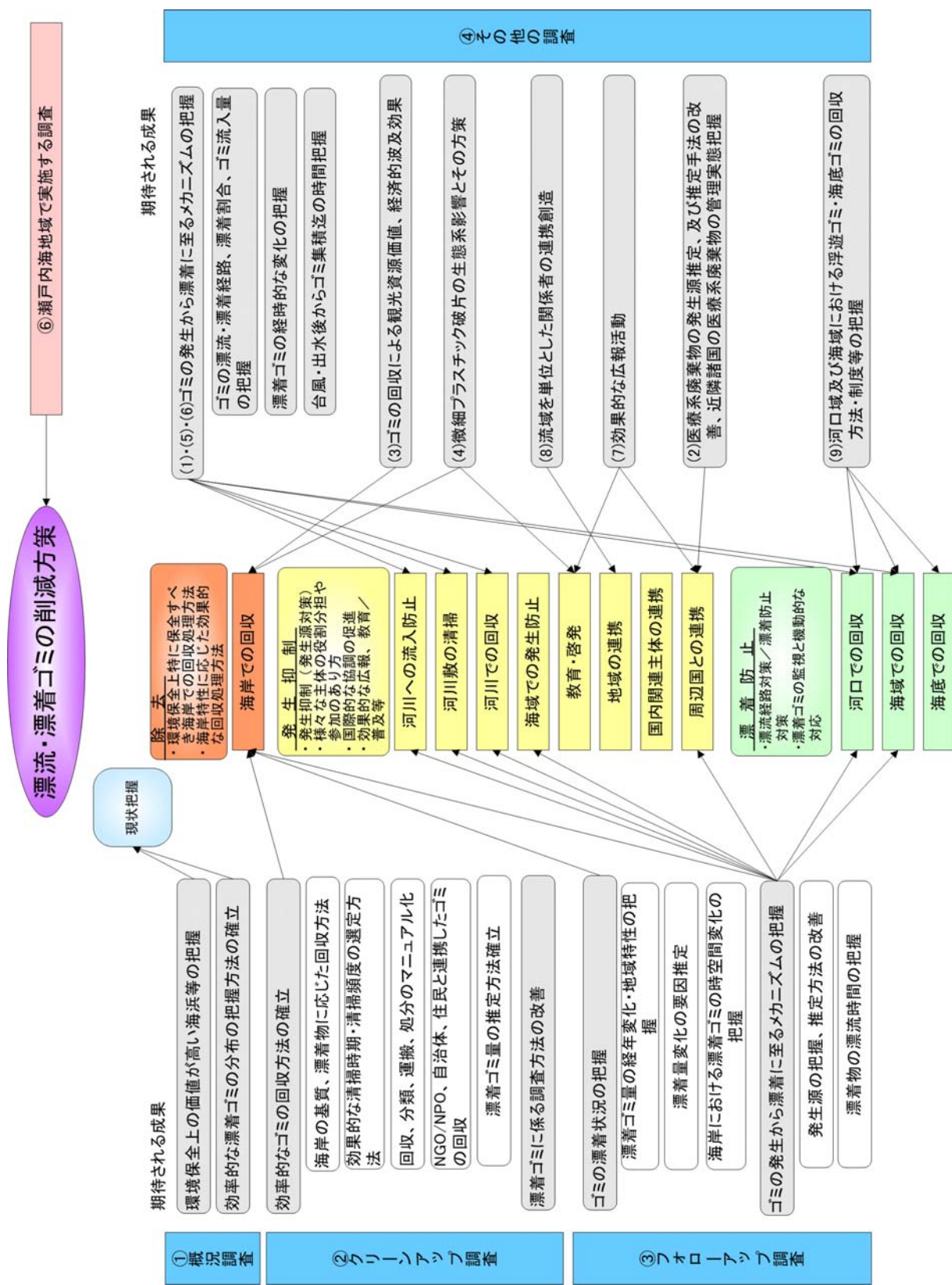


図 1 漂流・漂着ゴミの削減方策に向けた取組と本調査の関係